



令和6年10月11日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	マイ・ミュージアム係	南本有紀	代表 0575-28-3111 内線 306 FAX 0575-28-3110

博物館学芸講座

「日本近世史を読み解く」を開催します

（参加者募集）

岐阜県博物館では、自然・歴史・文化等に対する知的好奇心を喚起する講演会「博物館学芸講座」を行っています。この度、一橋大学名誉教授の若尾政希^{わかおまさき}氏を講師に迎え、百姓一揆の歴史像から近世という時代を考える、「日本近世史を読み解く」を開催します。

- 1 日 時 令和6年11月16日（土）13:30～15:00
- 2 会 場 岐阜県博物館 けんぱくホール（関市小屋名1989）
- 3 講 師 若尾 政希氏（一橋大学名誉教授・人間文化研究機構理事）
- 4 参加費 無料 ※但し、博物館本館の展示を観覧される場合には、入館料（一般340円・大学生110円・高校生以下無料）が必要です。
- 5 定 員 120人（要申込、定員になり次第締め切ります）
- 6 申込方法 （1）岐阜県博物館ホームページ（<https://www.gifu-kenpaku.jp/>）の申込フォーム
（2）電話（0575-28-3111（代））
受付開始は、令和6年10月16日（水）から。
※電話受付は休館日を除く8:30～17:15まで受け付けます。
<休館日>毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は、その翌平日）
- 7 問合せ先 岐阜県博物館（電話番号：0575-28-3111（代））

岐阜県博物館

検索



申し込みフォーム



岐阜県博物館ホームページ

【講師による講演案内】

「反体制運動ではなかった」、「竹槍^{むしろぼた}や蓑旗は使われなかった」…百姓一揆の歴史像は、研究の進展によって大きく転換しました。なぜ百姓は、訴訟や一揆を通して粘り強く自己主張することができたのか。各地に残る「一揆物語」には、どんな思想が織りこまれているか。

大きく転換した百姓一揆の歴史像を手がかりに、近世という時代を考えます。



講師 若尾政希氏